

2013年度（平成25年度）特別勘定の現況

●投資環境(2013年度)

日本株式市場

日経平均株価は期初12,371円で始まりました。4月の日銀の金融緩和を受け外為市場で円安が進行し、主に本邦輸出企業の業績改善への期待から5月に株価は15,942円まで上昇しましたが、6月には、米FRB議長の量的緩和早期縮小に関する発言や安倍首相の成長戦略への過度な期待の反動等の影響で、12,415円まで反落しました。その後は、一進一退を繰り返しながら下値を切り上げる展開となり、12月に外国為替市場において1米ドル＝105円台と円安が進む状況の中で、16,320円まで上昇し2007年12月以来の高値をつけました。年明け以降は、新興国通貨安等の影響で株価はやや下落し期末は14,827円で終了しました。

外国株式市場

期初、S&P500は1,569.18、FTSE100は6,411.74で始まりました。米国をはじめ世界各国では金融緩和方向の政策が採られる中、景気はゆるやかながら回復傾向を示し、市場ではリスクをとる動きから株価は堅調に推移し、5月にFTSE100は2000年1月以来の高値となる6,875.62をつけましたが、米FRB議長の量的緩和早期縮小に関する発言後の6月にFTSE100は6,023.44まで反落しました。その後は、徐々に上値を切り上げ、1月には6,867.42と5月の高値に接近しました。S&P500も6月に下落する場面がありましたが、米国債務上限引き上げ合意や堅調な米企業業績、米金融緩和継続期待などを背景に株価は年末に向けて上昇傾向を示しました。年始以降の主に通貨安から生じた新興国懸念により株価が反落する局面もありましたが、年度末に向け株価は一段と上昇し、3月にS&P500は史上最高値更新となる1,883.97をつけました。期末は若干値を戻しS&P500が1,872.34、FTSE100は6,598.37で終了しました。

日本債券市場

10年国債利回りは期初0.59%で始まり、4月に日銀の黒田新総裁による金融緩和策の一環として、買入れ国債の年限長期化が決定されたことから、10年国債利回りは0.32%と過去最低水準を更新しました。その後、市場で進行する円安・株高の影響等で10年国債利回りは5月に0.99%まで上昇しましたが、日銀の大量の国債買入により徐々に需給が引き締まり、10月に0.58%まで再び低下しました。年末には円安・株高の影響で10年国債利回りは0.75%まで上昇し、期末は0.64%で終了しました。

外国債券市場

期初、米国10年国債利回りは1.87%、ドイツ10年国債利回りは1.28%で始まりました。米FRB議長の量的緩和早期縮小に関する発言等により、9月に米国10年国債利回りは3.00%まで上昇しました。また、独連邦議会選挙の結果、連立政権樹立への懸念やイタリア政局不安等から、ドイツ10年国債利回りは9月に2.08%まで上昇しました。11月には、ECBによる予想外の利下げが実施され、その後一進一退で推移しましたが、年始以降の通貨安等から生じた新興国懸念により利回りは低下傾向を示し、期末には米国10年国債利回りは2.71%、ドイツ10年国債利回りは、1.56%で終了しました。

外国為替市場

期初、1米ドル＝94.21円で始まりました。4月に日銀が導入を決定した「量的・質的金融緩和」等を背景に、5月に1米ドル＝103.74円となりました。一方、米FRB議長の量的緩和早期縮小に関する発言等の影響により、6月には1米ドル＝93.79円の円高水準となりました。しばらくもみ合いの後、GPIFの運用資産構成比見直しによる外貨建て資産への投資拡大や日銀の追加緩和期待等を背景に12月には1米ドル＝105.41円となり、2008年10月以来の円安水準となりました。年明け以降、新興国通貨下落等の影響でやや円高方向に振れ、1米ドル＝103.07円で期末を迎えました。また、ユーロにつきましては期初、1ユーロ＝120.65円で始まりました。景況感の改善等を受けユーロはゆるやかに上昇し、12月に1ユーロ＝145.69円となった後、1ユーロ＝141.96円で期末を迎えました。

●運用実績の推移および運用方針

- | | |
|-------------|---------------------------------------|
| ①当期の運用実績の推移 | 特別勘定の運用状況をご参照ください。 |
| ②当期の運用方針 | 当社は、特別勘定の運用方針に従い、特別勘定の運用を実施しました。 |
| ③今後の運用方針 | 当社は、今後とも、特別勘定の運用方針に従い、特別勘定の運用を行う方針です。 |

当社は2013年度決算(決算日：2014年3月31日)を行いました。当資料は2013年度の運用状況をご報告するものです。
3ページ以降は特別勘定レポート(2014年4月発行(2014年3月末現在))からの抜粋となります。最新の運用状況は当社ホームページにてご確認いただけます。

●特別勘定の内容

特別勘定の名称	投資対象	運用方針
SA バランス 0807A	公社債等	特別勘定資産の成長と中長期的観点に立った収益の確保を目的とし、独自の運用手法により、株式による積極運用と債券による安定運用の配分比率を自動的に見直す運用を行います。*

*一定条件に該当したため、現在は当社による公社債等の安定運用のみを行っています。

●特別勘定資産の内訳(2013年度末)

(単位：百万円)

区分	金額
	SA バランス 0807A
現預金・コールローン	18
有価証券	1,247
公社債	1,247
株式	-
外国証券	-
公社債	-
株式等	-
その他の証券	-
貸付金	-
その他	3
貸倒引当金	-
合計	1,270

※単位未満切捨て

●特別勘定の運用収支状況(2013年度)

(単位：百万円)

区分	金額
	SA バランス 0807A
利息配当金等収入	19
有価証券売却益	4
有価証券償還益	-
有価証券評価益	65
為替差益	-
金融派生商品収益	-
その他の収益	-
有価証券売却損	-
有価証券償還損	-
有価証券評価損	91
為替差損	-
金融派生商品費用	-
その他の費用及び損失	-
収支差額	-1

※単位未満切捨て

●有価証券の売買状況(2013年度)

(単位：千円)

特別勘定の名称	銘柄	買付		売付	
		額面	金額	額面	金額
SA バランス 0807A	294 10年利付国債	-	-	55,000	55,721
	296 10年利付国債	-	-	22,000	21,871

※単位未満切捨て

●保有契約高(2013年度末)

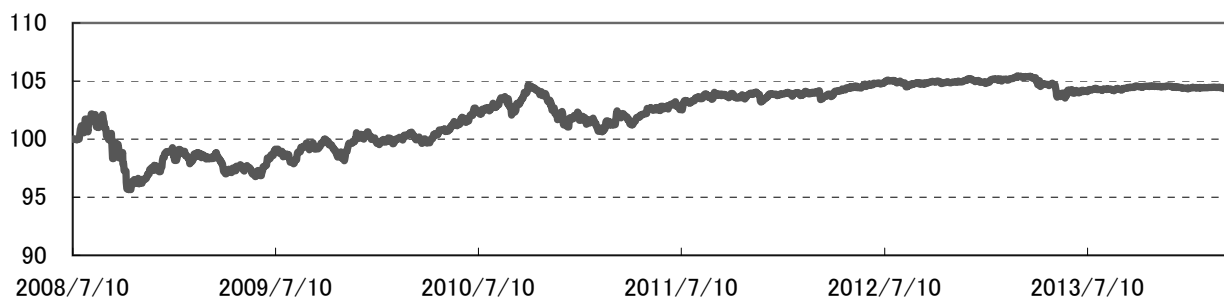
(単位：件、百万円)

項目	件数	金額
変額個人年金保険 GF(Ⅲ型) 異次元発(SA バランス 0807A)	235	1,338

※単位未満切捨て

特別勘定「SAバランス0807A」運用状況

■ ユニットプライスの推移（特別勘定設定日：2008年7月10日）



■ ユニットプライスの騰落率

1か月	3か月	6か月	1年	設定来	2014年3月末現在 ユニットプライス
-0.09%	-0.03%	-0.12%	-0.97%	4.35%	104.35

■ 特別勘定 純資産総額の内訳

	金額(百万円)	構成比(%)
公社債等	1,251	98.5%
現預金・その他*	18	1.5%
純資産総額	1,270	100.0%

※金額は単位未満を切り捨てて、構成比は小数点第2位を四捨五入して、表示しています。

※ユニットプライスと騰落率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※ユニットプライス(単位価格)とは、特別勘定資産の積立金の1ユニット(単位)に対する価格のことをいい、特別勘定資産の評価を反映しています。

* 経理処理の仕組み上、現預金・その他の比率がマイナスになる場合があります。

組入公社債等について

■ 公社債等による運用について

1 積立金が一定水準まで減少したことにより、運用期間満了時の年金原資を確保するために、あらかじめ定められたルールに基づき、公社債等*による安定的な運用を行います。

* 東京海上日動フィナンシャル生命が十分な信用力を有すると判断した発行体が発行する公社債等とします。

2 東京海上日動フィナンシャル生命が運用期間満了時における年金原資保証金額を最低保証します。

3 運用期間満了時まで投資信託(バランスファンド)による運用は行いません。

4 公社債等による運用では、株式市況による直接的な影響は受けません。

■ 公社債等情報（公社債等による運用に切り替わった日：2008年10月15日）

No	銘柄	利率(%)	償還日	比率(%)
1	第294回利付国債(10年)	1.70	2018年6月20日	68.4%
2	第296回利付国債(10年)	1.50	2018年9月20日	30.1%
3				
4				
5				

※比率は特別勘定純資産総額に対する割合。その他現預金等を保有しています。

■この特別勘定レポートは、東京海上日動フィナンシャル生命の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する公社債等にかかる状況は、東京海上日動フィナンシャル生命が信頼できると判断したデータにより作成していますが、その内容の完全性、正確性を保証するものではありません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

●特別勘定の内容

特別勘定の名称	投資対象	運用方針
SA バランス 0807B	公社債等	特別勘定資産の成長と中長期的観点に立った収益の確保を目的とし、独自の運用手法により、株式による積極運用と債券による安定運用の配分比率を自動的に見直す運用を行います。*

*一定条件に該当したため、現在は当社による公社債等の安定運用のみを行っています。

●特別勘定資産の内訳(2013年度末)

(単位：百万円)

区分	金額
	SA バランス 0807B
現預金・コールローン	28
有価証券	1,657
公社債	1,657
株式	-
外国証券	-
公社債	-
株式等	-
その他の証券	-
貸付金	-
その他	4
貸倒引当金	-
合計	1,690

※単位未満切捨て

●特別勘定の運用収支状況(2013年度)

(単位：百万円)

区分	金額
	SA バランス 0807B
利息配当金等収入	26
有価証券売却益	6
有価証券償還益	-
有価証券評価益	89
為替差益	-
金融派生商品収益	-
その他の収益	-
有価証券売却損	-
有価証券償還損	-
有価証券評価損	123
為替差損	-
金融派生商品費用	-
その他の費用及び損失	-
収支差額	-1

※単位未満切捨て

●有価証券の売買状況(2013年度)

(単位：千円)

特別勘定の名称	銘柄	買付		売付	
		額面	金額	額面	金額
SA バランス 0807B	294 10年利付国債	-	-	62,000	62,820
	296 10年利付国債	-	-	40,000	39,734

※単位未満切捨て

●保有契約高(2013年度末)

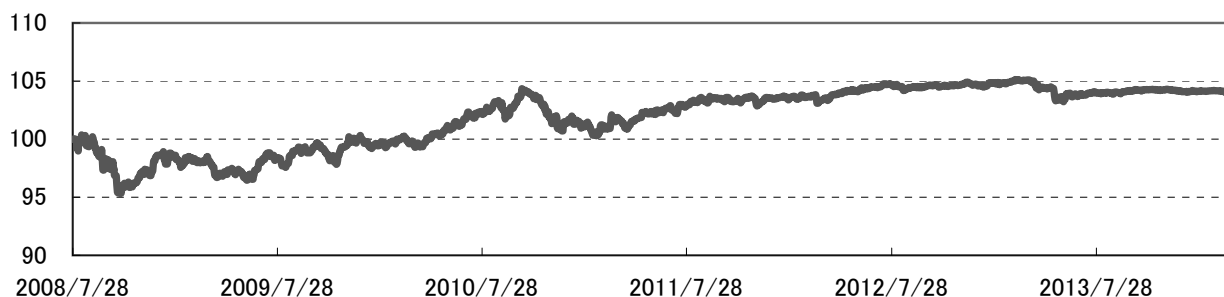
(単位：件、百万円)

項目	件数	金額
変額個人年金保険 GF(Ⅲ型) 異次元発(SA バランス 0807B)	286	1,771

※単位未満切捨て

特別勘定「SAバランス0807B」運用状況

■ ユニットプライスの推移（特別勘定設定日：2008年7月28日）



■ ユニットプライスの騰落率

1か月	3か月	6か月	1年	設定来	2014年3月末現在 ユニットプライス
-0.09%	-0.03%	-0.12%	-0.97%	4.05%	104.05

■ 特別勘定 純資産総額の内訳

	金額(百万円)	構成比(%)
公社債等	1,662	98.3%
現預金・その他*	28	1.7%
純資産総額	1,690	100.0%

※金額は単位未満を切り捨て、構成比は小数点第2位を四捨五入して、表示しています。

※ユニットプライスと騰落率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※ユニットプライス(単位価格)とは、特別勘定資産の積立金の1ユニット(単位)に対する価格のことをいい、特別勘定資産の評価を反映しています。

* 経理処理の仕組み上、現預金・その他の比率がマイナスになる場合があります。

組入公社債等について

■ 公社債等による運用について

- 積立金が一定水準まで減少したことにより、運用期間満了時の年金原資を確保するために、あらかじめ定められたルールに基づき、公社債等*による安定的な運用を行います。
* 東京海上日動フィナンシャル生命が十分な信用力を有すると判断した発行体が発行する公社債等とします。
- 東京海上日動フィナンシャル生命が運用期間満了時における年金原資保証金額を最低保証します。
- 運用期間満了時まで投資信託(バランスファンド)による運用は行いません。
- 公社債等による運用では、株式市況による直接的な影響は受けません。

■ 公社債等情報（公社債等による運用に切り替わった日：2008年10月15日）

No	銘柄	利率(%)	償還日	比率(%)
1	第294回利付国債(10年)	1.70	2018年6月20日	59.0%
2	第296回利付国債(10年)	1.50	2018年9月20日	39.4%
3				
4				
5				

※比率は特別勘定純資産総額に対する割合。その他現預金等を保有しています。

■この特別勘定レポートは、東京海上日動フィナンシャル生命の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する公社債等にかかる状況は、東京海上日動フィナンシャル生命が信頼できると判断したデータにより作成していますが、その内容の完全性、正確性を保証するものではありません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

●特別勘定の内容

特別勘定の名称	投資対象	運用方針
SA バランス 0808A	公社債等	特別勘定資産の成長と中長期的観点に立った収益の確保を目的とし、独自の運用手法により、株式による積極運用と債券による安定運用の配分比率を自動的に見直す運用を行います。*

*一定条件に該当したため、現在は当社による公社債等の安定運用のみを行っています。

●特別勘定資産の内訳(2013年度末)

(単位：百万円)

区分	金額
	SA バランス 0808A
現預金・コールローン	30
有価証券	2,116
公社債	2,116
株式	-
外国証券	-
公社債	-
株式等	-
その他の証券	-
貸付金	-
その他	4
貸倒引当金	-
合計	2,150

※単位未満切捨て

●特別勘定の運用収支状況(2013年度)

(単位：百万円)

区分	金額
	SA バランス 0808A
利息配当金等収入	32
有価証券売却益	5
有価証券償還益	-
有価証券評価益	120
為替差益	-
金融派生商品収益	-
その他の収益	-
有価証券売却損	-
有価証券償還損	-
有価証券評価損	160
為替差損	-
金融派生商品費用	-
その他の費用及び損失	-
収支差額	-2

※単位未満切捨て

●有価証券の売買状況(2013年度)

(単位：千円)

特別勘定の名称	銘柄	買付		売付	
		額面	金額	額面	金額
SA バランス 0808A	294 10年利付国債	-	-	34,000	34,445
	296 10年利付国債	-	-	51,000	50,653

※単位未満切捨て

●保有契約高(2013年度末)

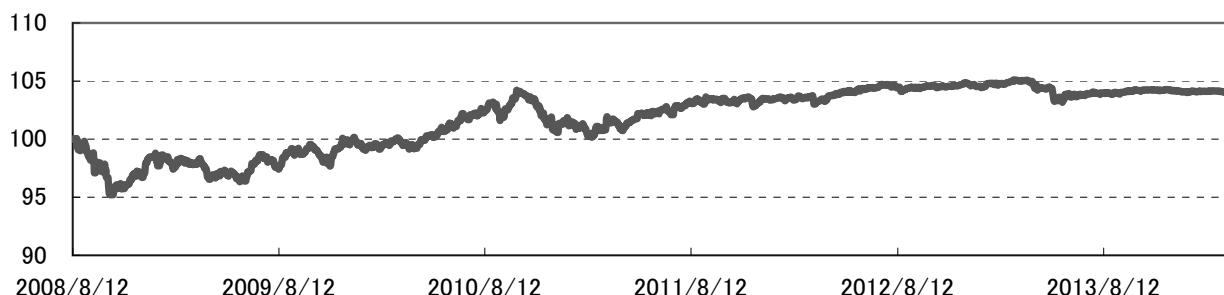
(単位：件、百万円)

項目	件数	金額
変額個人年金保険 GF(Ⅲ型) 異次元発(SA バランス 0808A)	307	2,272

※単位未満切捨て

特別勘定「SAバランス0808A」運用状況

■ ユニットプライスの推移（特別勘定設定日：2008年8月12日）



■ ユニットプライスの騰落率

1か月	3か月	6か月	1年	設定来	2014年3月末現在 ユニットプライス
-0.09%	-0.03%	-0.11%	-0.97%	4.03%	104.03

■ 特別勘定 純資産総額の内訳

	金額(百万円)	構成比(%)
公社債等	2,120	98.6%
現預金・その他*	30	1.4%
純資産総額	2,150	100.0%

※金額は単位未満を切り捨てて、構成比は小数点第2位を四捨五入して、表示しています。

※ユニットプライスと騰落率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※ユニットプライス(単位価格)とは、特別勘定資産の積立金の1ユニット(単位)に対する価格のことをいい、特別勘定資産の評価を反映しています。

* 経理処理の仕組み上、現預金・その他の比率がマイナスになる場合があります。

組入公社債等について

■ 公社債等による運用について

- 1 積立金が一定水準まで減少したことにより、運用期間満了時の年金原資を確保するために、あらかじめ定められたルールに基づき、公社債等*による安定的な運用を行います。
* 東京海上日動フィナンシャル生命が十分な信用力を有すると判断した発行体が発行する公社債等とします。
- 2 東京海上日動フィナンシャル生命が運用期間満了時における年金原資保証金額を最低保証します。
- 3 運用期間満了時まで投資信託(バランスファンド)による運用は行いません。
- 4 公社債等による運用では、株式市況による直接的な影響は受けません。

■ 公社債等情報（公社債等による運用に切り替わった日：2008年10月15日）

No	銘柄	利率(%)	償還日	比率(%)
1	第294回利付国債(10年)	1.70	2018年6月20日	39.1%
2	第296回利付国債(10年)	1.50	2018年9月20日	59.5%
3				
4				
5				

※比率は特別勘定純資産総額に対する割合。その他現預金等を保有しています。

■この特別勘定レポートは、東京海上日動フィナンシャル生命の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する公社債等にかかる状況は、東京海上日動フィナンシャル生命が信頼できると判断したデータにより作成していますが、その内容の完全性、正確性を保証するものではありません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

●特別勘定の内容

特別勘定の名称	投資対象	運用方針
SA バランス 0808B	公社債等	特別勘定資産の成長と中長期的観点に立った収益の確保を目的とし、独自の運用手法により、株式による積極運用と債券による安定運用の配分比率を自動的に見直す運用を行います。*

*一定条件に該当したため、現在は当社による公社債等の安定運用のみを行っています。

●特別勘定資産の内訳(2013年度末)

(単位：百万円)

区分	金額
	SA バランス 0808B
現預金・コールローン	50
有価証券	2,513
公社債	2,513
株式	－
外国証券	－
公社債	－
株式等	－
その他の証券	－
貸付金	－
その他	3
貸倒引当金	－
合計	2,566

※単位未満切捨て

●特別勘定の運用収支状況(2013年度)

(単位：百万円)

区分	金額
	SA バランス 0808B
利息配当金等収入	36
有価証券売却益	4
有価証券償還益	－
有価証券評価益	146
為替差益	－
金融派生商品収益	－
その他の収益	－
有価証券売却損	－
有価証券償還損	－
有価証券評価損	190
為替差損	－
金融派生商品費用	－
その他の費用及び損失	－
収支差額	-2

※単位未満切捨て

●有価証券の売買状況(2013年度)

(単位：千円)

特別勘定の名称	銘柄	買付		売付	
		額面	金額	額面	金額
SA バランス 0808B	294 10年利付国債	－	－	14,000	14,184
	296 10年利付国債	－	－	58,000	57,706

※単位未満切捨て

●保有契約高(2013年度末)

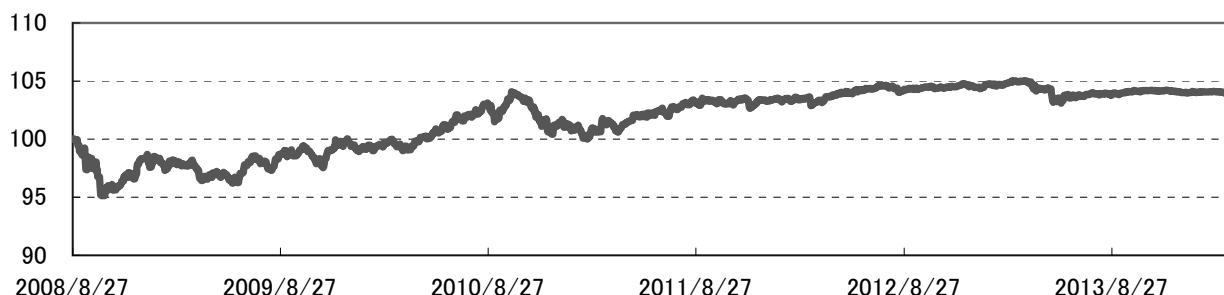
(単位：件、百万円)

項目	件数	金額
変額個人年金保険 GF(Ⅲ型) 異次元発(SA バランス 0808B)	427	2,713

※単位未満切捨て

特別勘定「SAバランス0808B」運用状況

■ ユニットプライスの推移（特別勘定設定日：2008年8月27日）



■ ユニットプライスの騰落率

1か月	3か月	6か月	1年	設定来	2014年3月末現在 ユニットプライス
-0.09%	-0.03%	-0.11%	-0.97%	3.97%	103.97

■ 特別勘定 純資産総額の内訳

	金額(百万円)	構成比(%)
公社債等	2,516	98.0%
現預金・その他*	50	2.0%
純資産総額	2,566	100.0%

※金額は単位未満を切り捨て、構成比は小数点第2位を四捨五入して、表示しています。

※ユニットプライスと騰落率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※ユニットプライス(単位価格)とは、特別勘定資産の積立金の1ユニット(単位)に対する価格のことをいい、特別勘定資産の評価を反映しています。

* 経理処理の仕組み上、現預金・その他の比率がマイナスになる場合があります。

組入公社債等について

■ 公社債等による運用について

- 1 積立金が一定水準まで減少したことにより、運用期間満了時の年金原資を確保するために、あらかじめ定められたルールに基づき、公社債等*による安定的な運用を行います。
* 東京海上日動フィナンシャル生命が十分な信用力を有すると判断した発行体が発行する公社債等とします。
- 2 東京海上日動フィナンシャル生命が運用期間満了時における年金原資保証金額を最低保証します。
- 3 運用期間満了時まで投資信託(バランスファンド)による運用は行いません。
- 4 公社債等による運用では、株式市況による直接的な影響は受けません。

■ 公社債等情報（公社債等による運用に切り替わった日：2008年10月15日）

No	銘柄	利率(%)	償還日	比率(%)
1	第294回利付国債(10年)	1.70	2018年6月20日	19.5%
2	第296回利付国債(10年)	1.50	2018年9月20日	78.6%
3				
4				
5				

※比率は特別勘定純資産総額に対する割合。その他現預金等を保有しています。

■この特別勘定レポートは、東京海上日動フィナンシャル生命の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する公社債等にかかる状況は、東京海上日動フィナンシャル生命が信頼できると判断したデータにより作成していますが、その内容の完全性、正確性を保証するものではありません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

●特別勘定の内容

特別勘定の名称	投資対象	運用方針
SA バランス 0809A	公社債等	特別勘定資産の成長と中長期的観点に立った収益の確保を目的とし、独自の運用手法により、株式による積極運用と債券による安定運用の配分比率を自動的に見直す運用を行います。*

*一定条件に該当したため、現在は当社による公社債等の安定運用のみを行っています。

●特別勘定資産の内訳(2013年度末)

(単位：百万円)

区分	金額
	SA バランス 0809A
現預金・コールローン	38
有価証券	2,041
公社債	2,041
株式	-
外国証券	-
公社債	-
株式等	-
その他の証券	-
貸付金	-
その他	0
貸倒引当金	-
合計	2,081

※単位未満切捨て

●特別勘定の運用収支状況(2013年度)

(単位：百万円)

区分	金額
	SA バランス 0809A
利息配当金等収入	30
有価証券売却益	10
有価証券償還益	-
有価証券評価益	123
為替差益	-
金融派生商品収益	-
その他の収益	-
有価証券売却損	-
有価証券償還損	-
有価証券評価損	167
為替差損	-
金融派生商品費用	-
その他の費用及び損失	-
収支差額	-2

※単位未満切捨て

●有価証券の売買状況(2013年度)

(単位：千円)

特別勘定の名称	銘柄	買付		売付	
		額面	金額	額面	金額
SA バランス 0809A	296 10年利付国債	-	-	162,000	161,200

※単位未満切捨て

●保有契約高(2013年度末)

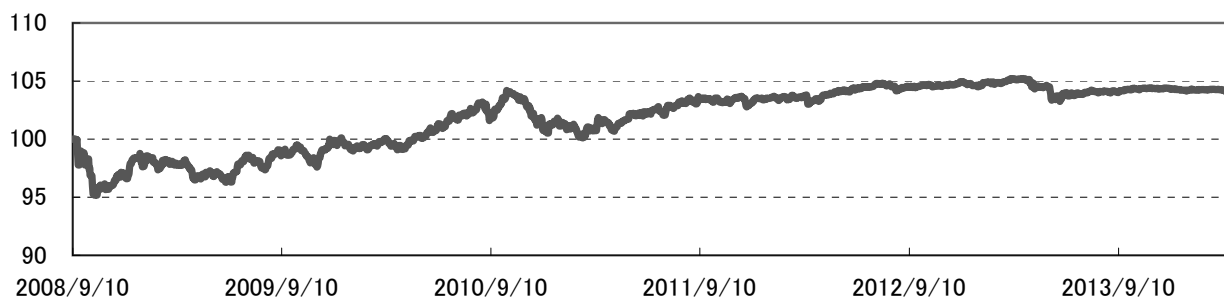
(単位：件、百万円)

項目	件数	金額
変額個人年金保険 GF(Ⅲ型) 異次元発(SA バランス 0809A)	321	2,195

※単位未満切捨て

特別勘定「SAバランス0809A」運用状況

■ ユニットプライスの推移（特別勘定設定日：2008年9月10日）



■ ユニットプライスの騰落率

1か月	3か月	6か月	1年	設定来	2014年3月末現在 ユニットプライス
-0.09%	-0.04%	-0.11%	-0.97%	4.16%	104.16

■ 特別勘定 純資産総額の内訳

	金額(百万円)	構成比(%)
公社債等	2,042	98.2%
現預金・その他*	38	1.8%
純資産総額	2,081	100.0%

※金額は単位未満を切り捨てて、構成比は小数点第2位を四捨五入して、表示しています。

※ユニットプライスと騰落率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※ユニットプライス(単位価格)とは、特別勘定資産の積立金の1ユニット(単位)に対する価格のことをいい、特別勘定資産の評価を反映しています。

* 経理処理の仕組み上、現預金・その他の比率がマイナスになる場合があります。

組入公社債等について

■ 公社債等による運用について

- 1 積立金が一定水準まで減少したことにより、運用期間満了時の年金原資を確保するために、あらかじめ定められたルールに基づき、公社債等*による安定的な運用を行います。
* 東京海上日動フィナンシャル生命が十分な信用力を有すると判断した発行体が発行する公社債等とします。
- 2 東京海上日動フィナンシャル生命が運用期間満了時における年金原資保証金額を最低保証します。
- 3 運用期間満了時まで投資信託(バランスファンド)による運用は行いません。
- 4 公社債等による運用では、株式市況による直接的な影響は受けません。

■ 公社債等情報（公社債等による運用に切り替わった日：2008年10月15日）

No	銘柄	利率(%)	償還日	比率(%)
1	第296回利付国債(10年)	1.50	2018年9月20日	98.2%
2				
3				
4				
5				

※比率は特別勘定純資産総額に対する割合。その他現預金等を保有しています。

■この特別勘定レポートは、東京海上日動フィナンシャル生命の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する公社債等にかかる状況は、東京海上日動フィナンシャル生命が信頼できると判断したデータにより作成していますが、その内容の完全性、正確性を保証するものではありません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

●特別勘定の内容

特別勘定の名称	投資対象	運用方針
SA バランス 0809B	公社債等	特別勘定資産の成長と中長期的観点に立った収益の確保を目的とし、独自の運用手法により、株式による積極運用と債券による安定運用の配分比率を自動的に見直す運用を行います。*

*一定条件に該当したため、現在は当社による公社債等の安定運用のみを行っています。

●特別勘定資産の内訳(2013年度末)

(単位：百万円)

区分	金額
	SA バランス 0809B
現預金・コールローン	35
有価証券	1,733
公社債	1,733
株式	-
外国証券	-
公社債	-
株式等	-
その他の証券	-
貸付金	-
その他	0
貸倒引当金	-
合計	1,769

※単位未満切捨て

●特別勘定の運用収支状況(2013年度)

(単位：百万円)

区分	金額
	SA バランス 0809B
利息配当金等収入	25
有価証券売却益	7
有価証券償還益	-
有価証券評価益	104
為替差益	-
金融派生商品収益	-
その他の収益	-
有価証券売却損	-
有価証券償還損	-
有価証券評価損	140
為替差損	-
金融派生商品費用	-
その他の費用及び損失	-
収支差額	-2

※単位未満切捨て

●有価証券の売買状況(2013年度)

(単位：千円)

特別勘定の名称	銘柄	買付		売付	
		額面	金額	額面	金額
SA バランス 0809B	296 10年利付国債	-	-	117,000	116,414

※単位未満切捨て

●保有契約高(2013年度末)

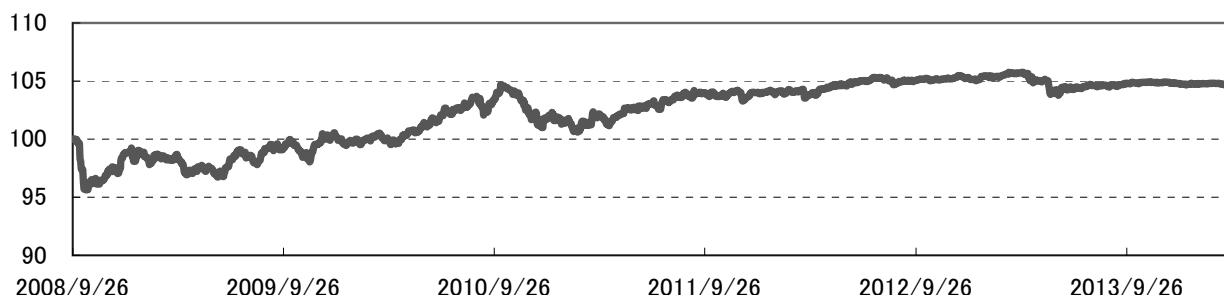
(単位：件、百万円)

項目	件数	金額
変額個人年金保険 GF(Ⅲ型) 異次元発(SA バランス 0809B)	279	1,858

※単位未満切捨て

特別勘定「SAバランス0809B」運用状況

■ ユニットプライスの推移（特別勘定設定日：2008年9月26日）



■ ユニットプライスの騰落率

1か月	3か月	6か月	1年	設定来	2014年3月末現在 ユニットプライス
-0.09%	-0.04%	-0.11%	-0.98%	4.68%	104.68

■ 特別勘定 純資産総額の内訳

	金額(百万円)	構成比(%)
公社債等	1,734	98.0%
現預金・その他*	35	2.0%
純資産総額	1,769	100.0%

※金額は単位未満を切り捨て、構成比は小数点第2位を四捨五入して、表示しています。

※ユニットプライスと騰落率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※ユニットプライス(単位価格)とは、特別勘定資産の積立金の1ユニット(単位)に対する価格のことをいい、特別勘定資産の評価を反映しています。

* 経理処理の仕組み上、現預金・その他の比率がマイナスになる場合があります。

組入公社債等について

■ 公社債等による運用について

- 1 積立金が一定水準まで減少したことにより、運用期間満了時の年金原資を確保するために、あらかじめ定められたルールに基づき、公社債等*による安定的な運用を行います。
* 東京海上日動フィナンシャル生命が十分な信用力を有すると判断した発行体が発行する公社債等とします。
- 2 東京海上日動フィナンシャル生命が運用期間満了時における年金原資保証金額を最低保証します。
- 3 運用期間満了時まで投資信託(バランスファンド)による運用は行いません。
- 4 公社債等による運用では、株式市況による直接的な影響は受けません。

■ 公社債等情報（公社債等による運用に切り替わった日：2008年10月15日）

No	銘柄	利率(%)	償還日	比率(%)
1	第296回利付国債(10年)	1.50	2018年9月20日	98.0%
2				
3				
4				
5				

※比率は特別勘定純資産総額に対する割合。その他現預金等を保有しています。

■この特別勘定レポートは、東京海上日動フィナンシャル生命の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する公社債等にかかる状況は、東京海上日動フィナンシャル生命が信頼できると判断したデータにより作成していますが、その内容の完全性、正確性を保証するものではありません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

●特別勘定の内容

特別勘定の名称	投資対象	運用方針
SA バランス 0810A	公社債等	特別勘定資産の成長と中長期的観点に立った収益の確保を目的とし、独自の運用手法により、株式による積極運用と債券による安定運用の配分比率を自動的に見直す運用を行います。*

*一定条件に該当したため、現在は当社による公社債等の安定運用のみを行っています。

●特別勘定資産の内訳(2013年度末)

(単位：百万円)

区分	金額
	SA バランス 0810A
現預金・コールローン	25
有価証券	1,302
公社債	1,302
株式	-
外国証券	-
公社債	-
株式等	-
その他の証券	-
貸付金	-
その他	1
貸倒引当金	-
合計	1,329

※単位未満切捨て

●特別勘定の運用収支状況(2013年度)

(単位：百万円)

区分	金額
	SA バランス 0810A
利息配当金等収入	18
有価証券売却益	1
有価証券償還益	-
有価証券評価益	52
為替差益	-
金融派生商品収益	-
その他の収益	-
有価証券売却損	-
有価証券償還損	-
有価証券評価損	72
為替差損	-
金融派生商品費用	-
その他の費用及び損失	-
収支差額	-1

※単位未満切捨て

●有価証券の売買状況(2013年度)

(単位：千円)

特別勘定の名称	銘柄	買付		売付	
		額面	金額	額面	金額
SA バランス 0810A	296 10年利付国債	-	-	24,000	24,492
	298 10年利付国債	-	-	10,000	10,019

※単位未満切捨て

●保有契約高(2013年度末)

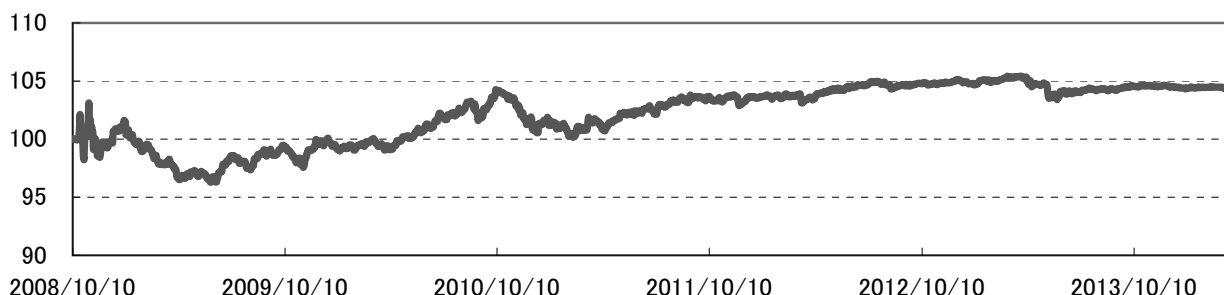
(単位：件、百万円)

項目	件数	金額
変額個人年金保険 GF(Ⅲ型) 異次元発(SA バランス 0810A)	193	1,399

※単位未満切捨て

特別勘定「SAバランス0810A」運用状況

■ ユニットプライスの推移（特別勘定設定日：2008年10月10日）



■ ユニットプライスの騰落率

1か月	3か月	6か月	1年	設定来	2014年3月末現在 ユニットプライス
-0.08%	-0.02%	-0.11%	-0.97%	4.37%	104.37

■ 特別勘定 純資産総額の内訳

	金額(百万円)	構成比(%)
公社債等	1,304	98.1%
現預金・その他*	25	1.9%
純資産総額	1,329	100.0%

※金額は単位未満を切り捨てて、構成比は小数点第2位を四捨五入して、表示しています。

※ユニットプライスと騰落率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※ユニットプライス(単位価格)とは、特別勘定資産の積立金の1ユニット(単位)に対する価格のことをいい、特別勘定資産の評価を反映しています。

* 経理処理の仕組み上、現預金・その他の比率がマイナスになる場合があります。

組入公社債等について

■ 公社債等による運用について

- 積立金が一定水準まで減少したことにより、運用期間満了時の年金原資を確保するために、あらかじめ定められたルールに基づき、公社債等*による安定的な運用を行います。
* 東京海上日動フィナンシャル生命が十分な信用力を有すると判断した発行体が発行する公社債等とします。
- 東京海上日動フィナンシャル生命が運用期間満了時における年金原資保証金額を最低保証します。
- 運用期間満了時まで投資信託(バランスファンド)による運用は行いません。
- 公社債等による運用では、株式市況による直接的な影響は受けません。

■ 公社債等情報（公社債等による運用に切り替わった日：2009年3月5日）

No	銘柄	利率(%)	償還日	比率(%)
1	第296回利付国債(10年)	1.50	2018年9月20日	68.4%
2	第298回利付国債(10年)	1.30	2018年12月20日	29.7%
3				
4				
5				

※比率は特別勘定純資産総額に対する割合。その他現預金等を保有しています。

■この特別勘定レポートは、東京海上日動フィナンシャル生命の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する公社債等にかかる状況は、東京海上日動フィナンシャル生命が信頼できると判断したデータにより作成していますが、その内容の完全性、正確性を保証するものではありません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

●特別勘定の内容

特別勘定の名称	投資対象	運用方針
SA バランス 0810B	公社債等	特別勘定資産の成長と中長期的観点に立った収益の確保を目的とし、独自の運用手法により、株式による積極運用と債券による安定運用の配分比率を自動的に見直す運用を行います。*

*一定条件に該当したため、現在は当社による公社債等の安定運用のみを行っています。

●特別勘定資産の内訳(2013年度末)

(単位：百万円)

区分	金額
	SA バランス 0810B
現預金・コールローン	11
有価証券	469
公社債	469
株式	-
外国証券	-
公社債	-
株式等	-
その他の証券	-
貸付金	-
その他	0
貸倒引当金	-
合計	481

※単位未満切捨て

●特別勘定の運用収支状況(2013年度)

(単位：百万円)

区分	金額
	SA バランス 0810B
利息配当金等収入	6
有価証券売却益	1
有価証券償還益	-
有価証券評価益	18
為替差益	-
金融派生商品収益	-
その他の収益	-
有価証券売却損	-
有価証券償還損	-
有価証券評価損	27
為替差損	-
金融派生商品費用	-
その他の費用及び損失	-
収支差額	0

※単位未満切捨て

●有価証券の売買状況(2013年度)

(単位：千円)

特別勘定の名称	銘柄	買付		売付	
		額面	金額	額面	金額
SA バランス 0810B	296 10年利付国債	-	-	15,000	15,319
	298 10年利付国債	-	-	11,000	11,023

※単位未満切捨て

●保有契約高(2013年度末)

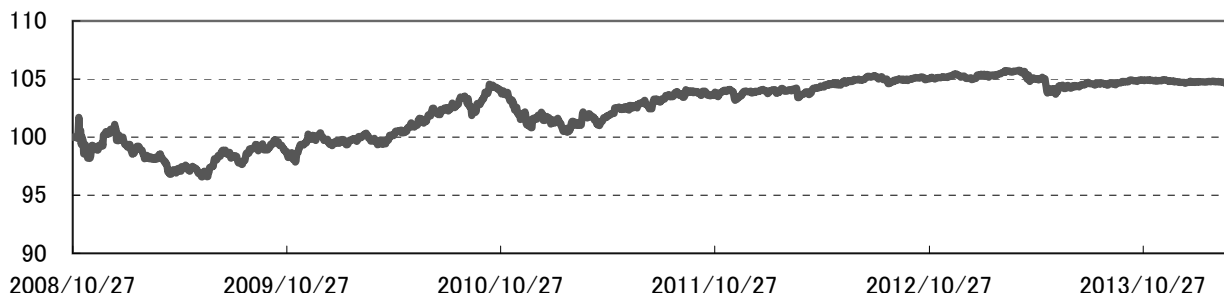
(単位：件、百万円)

項目	件数	金額
変額個人年金保険 GF(Ⅲ型) 異次元発(SA バランス 0810B)	89	505

※単位未満切捨て

特別勘定「SAバランス0810B」運用状況

■ ユニットプライスの推移（特別勘定設定日：2008年10月27日）



■ ユニットプライスの騰落率

1か月	3か月	6か月	1年	設定来	2014年3月末現在 ユニットプライス
-0.08%	-0.02%	-0.11%	-0.98%	4.68%	104.68

■ 特別勘定 純資産総額の内訳

	金額(百万円)	構成比(%)
公社債等	469	97.5%
現預金・その他*	11	2.5%
純資産総額	481	100.0%

※金額は単位未満を切り捨てて、構成比は小数点第2位を四捨五入して、表示しています。

※ユニットプライスと騰落率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※ユニットプライス(単位価格)とは、特別勘定資産の積立金の1ユニット(単位)に対する価格のことをいい、特別勘定資産の評価を反映しています。

* 経理処理の仕組み上、現預金・その他の比率がマイナスになる場合があります。

組入公社債等について

■ 公社債等による運用について

- 1 積立金が一定水準まで減少したことにより、運用期間満了時の年金原資を確保するために、あらかじめ定められたルールに基づき、公社債等*による安定的な運用を行います。
* 東京海上日動フィナンシャル生命が十分な信用力を有すると判断した発行体が発行する公社債等とします。
- 2 東京海上日動フィナンシャル生命が運用期間満了時における年金原資保証金額を最低保証します。
- 3 運用期間満了時まで投資信託(バランスファンド)による運用は行いません。
- 4 公社債等による運用では、株式市況による直接的な影響は受けません。

■ 公社債等情報（公社債等による運用に切り替わった日：2009年2月27日）

No	銘柄	利率(%)	償還日	比率(%)
1	第296回利付国債(10年)	1.50	2018年9月20日	58.7%
2	第298回利付国債(10年)	1.30	2018年12月20日	38.8%
3				
4				
5				

※比率は特別勘定純資産総額に対する割合。その他現預金等を保有しています。

■この特別勘定レポートは、東京海上日動フィナンシャル生命の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する公社債等にかかる状況は、東京海上日動フィナンシャル生命が信頼できると判断したデータにより作成していますが、その内容の完全性、正確性を保証するものではありません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

●特別勘定の内容

特別勘定の名称	投資対象	運用方針
SA バランス 0811A	公社債等	特別勘定資産の成長と中長期的観点に立った収益の確保を目的とし、独自の運用手法により、株式による積極運用と債券による安定運用の配分比率を自動的に見直す運用を行います。*

*一定条件に該当したため、現在は当社による公社債等の安定運用のみを行っています。

●特別勘定資産の内訳(2013年度末)

(単位：百万円)

区分	金額
	SA バランス 0811A
現預金・コールローン	9
有価証券	369
公社債	369
株式	-
外国証券	-
公社債	-
株式等	-
その他の証券	-
貸付金	-
その他	0
貸倒引当金	-
合計	379

※単位未満切捨て

●特別勘定の運用収支状況(2013年度)

(単位：百万円)

区分	金額
	SA バランス 0811A
利息配当金等収入	4
有価証券売却益	0
有価証券償還益	-
有価証券評価益	16
為替差益	-
金融派生商品収益	-
その他の収益	-
有価証券売却損	-
有価証券償還損	-
有価証券評価損	22
為替差損	-
金融派生商品費用	-
その他の費用及び損失	-
収支差額	0

※単位未満切捨て

●有価証券の売買状況(2013年度)

(単位：千円)

特別勘定の名称	銘柄	買付		売付	
		額面	金額	額面	金額
SA バランス 0811A	296 10年利付国債	-	-	7,000	7,143
	298 10年利付国債	-	-	10,000	10,019

※単位未満切捨て

●保有契約高(2013年度末)

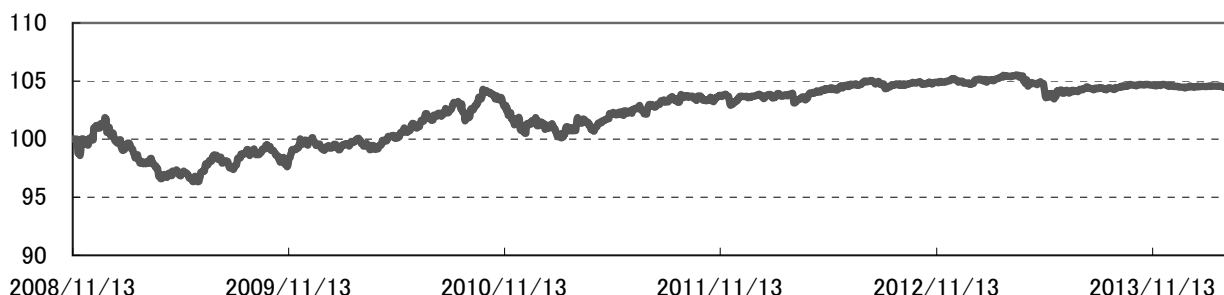
(単位：件、百万円)

項目	件数	金額
変額個人年金保険 GF(Ⅲ型) 異次元発(SA バランス 0811A)	76	399

※単位未満切捨て

特別勘定「SAバランス0811A」運用状況

■ ユニットプライスの推移（特別勘定設定日：2008年11月13日）



■ ユニットプライスの騰落率

1か月	3か月	6か月	1年	設定来	2014年3月末現在 ユニットプライス
-0.08%	-0.01%	-0.12%	-0.98%	4.45%	104.45

■ 特別勘定 純資産総額の内訳

	金額(百万円)	構成比(%)
公社債等	370	97.6%
現預金・その他*	9	2.4%
純資産総額	379	100.0%

※金額は単位未満を切り捨てて、構成比は小数点第2位を四捨五入して、表示しています。

※ユニットプライスと騰落率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※ユニットプライス(単位価格)とは、特別勘定資産の積立金の1ユニット(単位)に対する価格のことをいい、特別勘定資産の評価を反映しています。

* 経理処理の仕組み上、現預金・その他の比率がマイナスになる場合があります。

組入公社債等について

■ 公社債等による運用について

- 1 積立金が一定水準まで減少したことにより、運用期間満了時の年金原資を確保するために、あらかじめ定められたルールに基づき、公社債等*による安定的な運用を行います。
* 東京海上日動フィナンシャル生命が十分な信用力を有すると判断した発行体が発行する公社債等とします。
- 2 東京海上日動フィナンシャル生命が運用期間満了時における年金原資保証金額を最低保証します。
- 3 運用期間満了時まで投資信託(バランスファンド)による運用は行いません。
- 4 公社債等による運用では、株式市況による直接的な影響は受けません。

■ 公社債等情報（公社債等による運用に切り替わった日：2009年3月5日）

No	銘柄	利率(%)	償還日	比率(%)
1	第296回利付国債(10年)	1.50	2018年9月20日	37.7%
2	第298回利付国債(10年)	1.30	2018年12月20日	59.9%
3				
4				
5				

※比率は特別勘定純資産総額に対する割合。その他現預金等を保有しています。

■この特別勘定レポートは、東京海上日動フィナンシャル生命の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する公社債等にかかる状況は、東京海上日動フィナンシャル生命が信頼できると判断したデータにより作成していますが、その内容の完全性、正確性を保証するものではありません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

●特別勘定の内容

特別勘定の名称	投資対象	運用方針
SA バランス 0811B	公社債等	特別勘定資産の成長と中長期的観点に立った収益の確保を目的とし、独自の運用手法により、株式による積極運用と債券による安定運用の配分比率を自動的に見直す運用を行います。*

*一定条件に該当したため、現在は当社による公社債等の安定運用のみを行っています。

●特別勘定資産の内訳(2013年度末)

(単位：百万円)

区分	金額
	SA バランス 0811B
現預金・コールローン	10
有価証券	285
公社債	285
株式	-
外国証券	-
公社債	-
株式等	-
その他の証券	-
貸付金	-
その他	0
貸倒引当金	-
合計	297

※単位未満切捨て

●特別勘定の運用収支状況(2013年度)

(単位：百万円)

区分	金額
	SA バランス 0811B
利息配当金等収入	3
有価証券売却益	1
有価証券償還益	-
有価証券評価益	13
為替差益	-
金融派生商品収益	-
その他の収益	-
有価証券売却損	-
有価証券償還損	-
有価証券評価損	18
為替差損	-
金融派生商品費用	-
その他の費用及び損失	-
収支差額	0

※単位未満切捨て

●有価証券の売買状況(2013年度)

(単位：千円)

特別勘定の名称	銘柄	買付		売付	
		額面	金額	額面	金額
SA バランス 0811B	296 10年利付国債	-	-	6,000	6,121
	298 10年利付国債	-	-	24,000	24,053

※単位未満切捨て

●保有契約高(2013年度末)

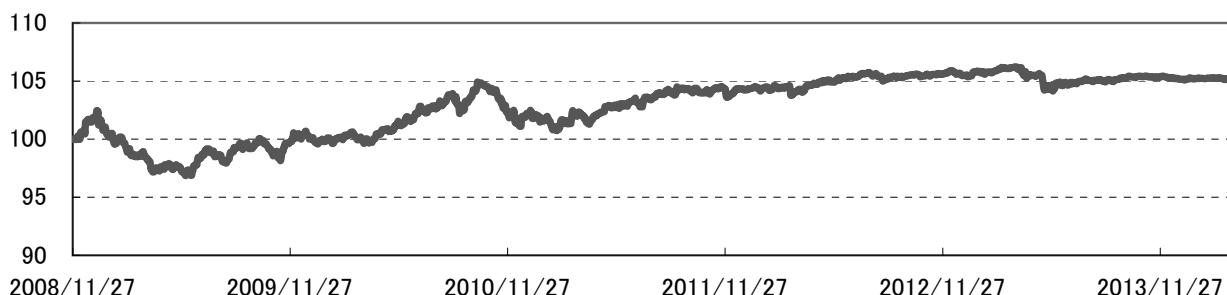
(単位：件、百万円)

項目	件数	金額
変額個人年金保険 GF(Ⅲ型) 異次元発(SA バランス 0811B)	60	310

※単位未満切捨て

特別勘定「SAバランス0811B」運用状況

■ ユニットプライスの推移（特別勘定設定日：2008年11月27日）



■ ユニットプライスの騰落率

1か月	3か月	6か月	1年	設定来	2014年3月末現在 ユニットプライス
-0.07%	0.00%	-0.12%	-0.97%	5.15%	105.15

■ 特別勘定 純資産総額の内訳

	金額(百万円)	構成比(%)
公社債等	286	96.4%
現預金・その他*	10	3.6%
純資産総額	297	100.0%

※金額は単位未満を切り捨て、構成比は小数点第2位を四捨五入して、表示しています。

※ユニットプライスと騰落率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※ユニットプライス(単位価格)とは、特別勘定資産の積立金の1ユニット(単位)に対する価格のことをいい、特別勘定資産の評価を反映しています。

* 経理処理の仕組み上、現預金・その他の比率がマイナスになる場合があります。

組入公社債等について

■ 公社債等による運用について

- 積立金が一定水準まで減少したことにより、運用期間満了時の年金原資を確保するために、あらかじめ定められたルールに基づき、公社債等*による安定的な運用を行います。
* 東京海上日動フィナンシャル生命が十分な信用力を有すると判断した発行体が発行する公社債等とします。
- 東京海上日動フィナンシャル生命が運用期間満了時における年金原資保証金額を最低保証します。
- 運用期間満了時まで投資信託(バランスファンド)による運用は行いません。
- 公社債等による運用では、株式市況による直接的な影響は受けません。

■ 公社債等情報（公社債等による運用に切り替わった日：2009年3月9日）

No	銘柄	利率(%)	償還日	比率(%)
1	第296回利付国債(10年)	1.50	2018年9月20日	18.9%
2	第298回利付国債(10年)	1.30	2018年12月20日	77.5%
3				
4				
5				

※比率は特別勘定純資産総額に対する割合。その他現預金等を保有しています。

■この特別勘定レポートは、東京海上日動フィナンシャル生命の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する公社債等にかかる状況は、東京海上日動フィナンシャル生命が信頼できると判断したデータにより作成していますが、その内容の完全性、正確性を保証するものではありません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

●特別勘定の内容

特別勘定の名称	投資対象	運用方針
SA バランス 0812A	公社債等	特別勘定資産の成長と中長期的観点に立った収益の確保を目的とし、独自の運用手法により、株式による積極運用と債券による安定運用の配分比率を自動的に見直す運用を行います。*

*一定条件に該当したため、現在は当社による公社債等の安定運用のみを行っています。

●特別勘定資産の内訳(2013年度末)

(単位：百万円)

区分	金額
	SA バランス 0812A
現預金・コールローン	11
有価証券	283
公社債	283
株式	－
外国証券	－
公社債	－
株式等	－
その他の証券	－
貸付金	－
その他	0
貸倒引当金	－
合計	295

※単位未満切捨て

●特別勘定の運用収支状況(2013年度)

(単位：百万円)

区分	金額
	SA バランス 0812A
利息配当金等収入	3
有価証券売却益	1
有価証券償還益	－
有価証券評価益	13
為替差益	－
金融派生商品収益	－
その他の収益	－
有価証券売却損	－
有価証券償還損	－
有価証券評価損	19
為替差損	－
金融派生商品費用	－
その他の費用及び損失	－
収支差額	0

※単位未満切捨て

●有価証券の売買状況(2013年度)

(単位：千円)

特別勘定の名称	銘柄	買付		売付	
		額面	金額	額面	金額
SA バランス 0812A	298 10年利付国債	－	－	24,000	24,020

※単位未満切捨て

●保有契約高(2013年度末)

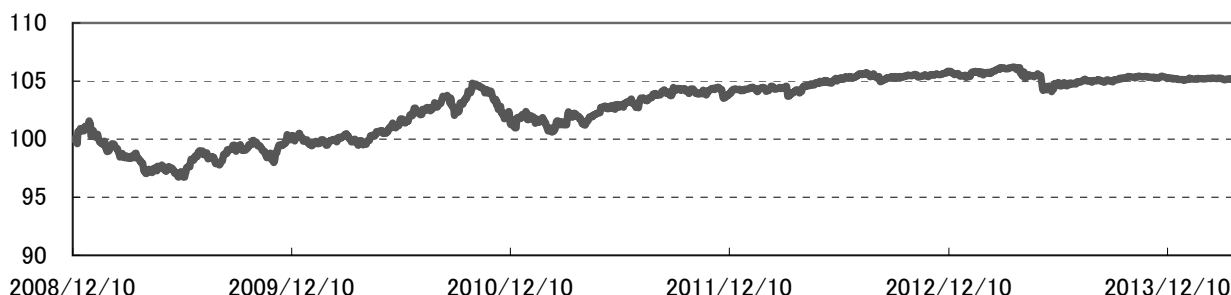
(単位：件、百万円)

項目	件数	金額
変額個人年金保険 GF(Ⅲ型) 異次元発(SA バランス 0812A)	54	309

※単位未満切捨て

特別勘定「SAバランス0812A」運用状況

■ ユニットプライスの推移（特別勘定設定日：2008年12月10日）



■ ユニットプライスの騰落率

1か月	3か月	6か月	1年	設定来	2014年3月末現在 ユニットプライス
-0.07%	0.00%	-0.13%	-0.99%	5.13%	105.13

■ 特別勘定 純資産総額の内訳

	金額(百万円)	構成比(%)
公社債等	284	96.1%
現預金・その他*	11	3.9%
純資産総額	295	100.0%

※金額は単位未満を切り捨てて、構成比は小数点第2位を四捨五入して、表示しています。

※ユニットプライスと騰落率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※ユニットプライス(単位価格)とは、特別勘定資産の積立金の1ユニット(単位)に対する価格のことをいい、特別勘定資産の評価を反映しています。

* 経理処理の仕組み上、現預金・その他の比率がマイナスになる場合があります。

組入公社債等について

■ 公社債等による運用について

- 1 積立金が一定水準まで減少したことにより、運用期間満了時の年金原資を確保するために、あらかじめ定められたルールに基づき、公社債等*による安定的な運用を行います。
* 東京海上日動フィナンシャル生命が十分な信用力を有すると判断した発行体が発行する公社債等とします。
- 2 東京海上日動フィナンシャル生命が運用期間満了時における年金原資保証金額を最低保証します。
- 3 運用期間満了時まで投資信託(バランスファンド)による運用は行いません。
- 4 公社債等による運用では、株式市況による直接的な影響は受けません。

■ 公社債等情報（公社債等による運用に切り替わった日：2009年3月3日）

No	銘柄	利率(%)	償還日	比率(%)
1	第298回利付国債(10年)	1.30	2018年12月20日	96.1%
2				
3				
4				
5				

※比率は特別勘定純資産総額に対する割合。その他現預金等を保有しています。

■この特別勘定レポートは、東京海上日動フィナンシャル生命の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する公社債等にかかる状況は、東京海上日動フィナンシャル生命が信頼できると判断したデータにより作成していますが、その内容の完全性、正確性を保証するものではありません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

●特別勘定の内容

特別勘定の名称	投資対象	運用方針
SA バランス 0812B	公社債等	特別勘定資産の成長と中長期的観点に立った収益の確保を目的とし、独自の運用手法により、株式による積極運用と債券による安定運用の配分比率を自動的に見直す運用を行います。*

*一定条件に該当したため、現在は当社による公社債等の安定運用のみを行っています。

●特別勘定資産の内訳(2013年度末)

(単位：百万円)

区分	金額
	SA バランス 0812B
現預金・コールローン	6
有価証券	151
公社債	151
株式	-
外国証券	-
公社債	-
株式等	-
その他の証券	-
貸付金	-
その他	0
貸倒引当金	-
合計	158

※単位未満切捨て

●特別勘定の運用収支状況(2013年度)

(単位：百万円)

区分	金額
	SA バランス 0812B
利息配当金等収入	1
有価証券売却益	-
有価証券償還益	-
有価証券評価益	6
為替差益	-
金融派生商品収益	-
その他の収益	-
有価証券売却損	-
有価証券償還損	-
有価証券評価損	8
為替差損	-
金融派生商品費用	-
その他の費用及び損失	-
収支差額	0

※単位未満切捨て

●有価証券の売買状況(2013年度)

(単位：千円)

特別勘定の名称	銘柄	買付		売付	
		額面	金額	額面	金額
SA バランス 0812B	298 10 年利付国債	-	-	-	-

※2013年度の売買実績はありません。

●保有契約高(2013年度末)

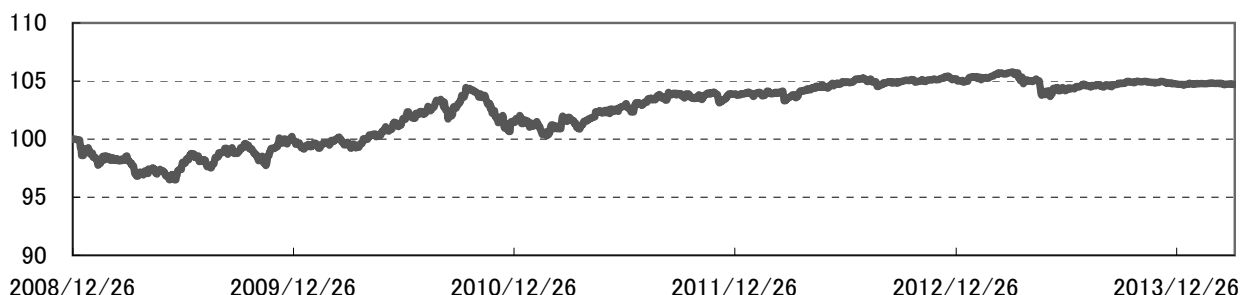
(単位：件、百万円)

項目	件数	金額
変額個人年金保険 GF(Ⅲ型) 異次元発(SA バランス 0812B)	25	166

※単位未満切捨て

特別勘定「SAバランス0812B」運用状況

■ ユニットプライスの推移（特別勘定設定日：2008年12月26日）



■ ユニットプライスの騰落率

1か月	3か月	6か月	1年	設定来	2014年3月末現在 ユニットプライス
-0.07%	0.00%	-0.13%	-0.98%	4.70%	104.70

■ 特別勘定 純資産総額の内訳

	金額(百万円)	構成比(%)
公社債等	152	95.7%
現預金・その他*	6	4.3%
純資産総額	158	100.0%

※金額は単位未満を切り捨てて、構成比は小数点第2位を四捨五入して、表示しています。

※ユニットプライスと騰落率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※ユニットプライス(単位価格)とは、特別勘定資産の積立金の1ユニット(単位)に対する価格のことをいい、特別勘定資産の評価を反映しています。

* 経理処理の仕組み上、現預金・その他の比率がマイナスになる場合があります。

組入公社債等について

■ 公社債等による運用について

- 積立金が一定水準まで減少したことにより、運用期間満了時の年金原資を確保するために、あらかじめ定められたルールに基づき、公社債等*による安定的な運用を行います。
* 東京海上日動フィナンシャル生命が十分な信用力を有すると判断した発行体が発行する公社債等とします。
- 東京海上日動フィナンシャル生命が運用期間満了時における年金原資保証金額を最低保証します。
- 運用期間満了時まで投資信託(バランスファンド)による運用は行いません。
- 公社債等による運用では、株式市況による直接的な影響は受けません。

■ 公社債等情報（公社債等による運用に切り替わった日：2009年1月23日）

No	銘柄	利率(%)	償還日	比率(%)
1	第298回利付国債(10年)	1.30	2018年12月20日	95.7%
2				
3				
4				
5				

※比率は特別勘定純資産総額に対する割合。その他現預金等を保有しています。

■この特別勘定レポートは、東京海上日動フィナンシャル生命の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する公社債等にかかる状況は、東京海上日動フィナンシャル生命が信頼できると判断したデータにより作成していますが、その内容の完全性、正確性を保証するものではありません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

●特別勘定の内容

特別勘定の名称	投資対象	運用方針
SA バランス 0901A	公社債等	特別勘定資産の成長と中長期的観点に立った収益の確保を目的とし、独自の運用手法により、株式による積極運用と債券による安定運用の配分比率を自動的に見直す運用を行います。*

*一定条件に該当したため、現在は当社による公社債等の安定運用のみを行っています。

●特別勘定資産の内訳(2013年度末)

(単位：百万円)

区分	金額
	SA バランス 0901A
現預金・コールローン	3
有価証券	74
公社債	74
株式	-
外国証券	-
公社債	-
株式等	-
その他の証券	-
貸付金	-
その他	0
貸倒引当金	-
合計	78

※単位未満切捨て

●特別勘定の運用収支状況(2013年度)

(単位：百万円)

区分	金額
	SA バランス 0901A
利息配当金等収入	0
有価証券売却益	-
有価証券償還益	-
有価証券評価益	3
為替差益	-
金融派生商品収益	-
その他の収益	-
有価証券売却損	-
有価証券償還損	-
有価証券評価損	4
為替差損	-
金融派生商品費用	-
その他の費用及び損失	-
収支差額	0

※単位未満切捨て

●有価証券の売買状況(2013年度)

(単位：千円)

特別勘定の名称	銘柄	買付		売付	
		額面	金額	額面	金額
SA バランス 0901A	298 10年利付国債	-	-	-	-

※2013年度の売買実績はありません。

●保有契約高(2013年度末)

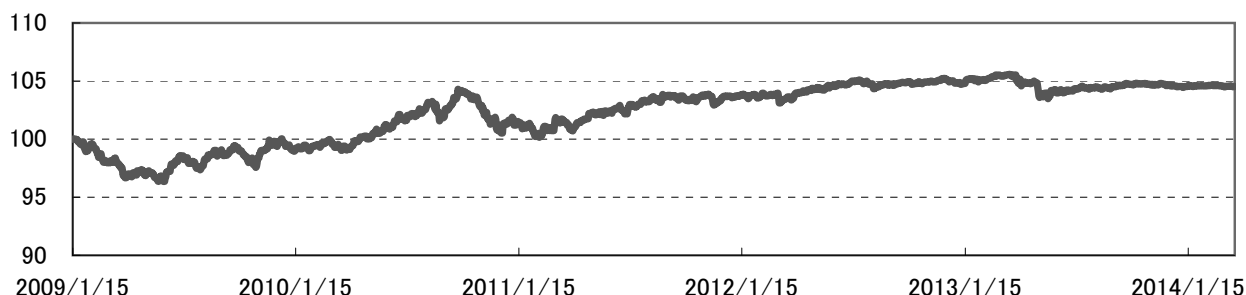
(単位：件、百万円)

項目	件数	金額
変額個人年金保険 GF(Ⅲ型) 異次元発(SA バランス 0901A)	16	82

※単位未満切捨て

特別勘定「SAバランス0901A」運用状況

■ ユニットプライスの推移（特別勘定設定日：2009年1月15日）



■ ユニットプライスの騰落率

1か月	3か月	6か月	1年	設定来	2014年3月末現在 ユニットプライス
-0.07%	0.00%	-0.13%	-0.98%	4.52%	104.52

■ 特別勘定 純資産総額の内訳

	金額(百万円)	構成比(%)
公社債等	74	95.6%
現預金・その他*	3	4.4%
純資産総額	78	100.0%

※金額は単位未満を切り捨てて、構成比は小数点第2位を四捨五入して、表示しています。

※ユニットプライスと騰落率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※ユニットプライス(単位価格)とは、特別勘定資産の積立金の1ユニット(単位)に対する価格のことをいい、特別勘定資産の評価を反映しています。

* 経理処理の仕組み上、現預金・その他の比率がマイナスになる場合があります。

組入公社債等について

■ 公社債等による運用について

- 積立金が一定水準まで減少したことにより、運用期間満了時の年金原資を確保するために、あらかじめ定められたルールに基づき、公社債等*による安定的な運用を行います。
* 東京海上日動フィナンシャル生命が十分な信用力を有すると判断した発行体が発行する公社債等とします。
- 東京海上日動フィナンシャル生命が運用期間満了時における年金原資保証金額を最低保証します。
- 運用期間満了時まで投資信託(バランスファンド)による運用は行いません。
- 公社債等による運用では、株式市況による直接的な影響は受けません。

■ 公社債等情報（公社債等による運用に切り替わった日：2009年3月5日）

No	銘柄	利率(%)	償還日	比率(%)
1	第298回利付国債(10年)	1.30	2018年12月20日	95.6%
2				
3				
4				
5				

※比率は特別勘定純資産総額に対する割合。その他現預金等を保有しています。

■この特別勘定レポートは、東京海上日動フィナンシャル生命の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する公社債等にかかる状況は、東京海上日動フィナンシャル生命が信頼できると判断したデータにより作成していますが、その内容の完全性、正確性を保証するものではありません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

ご負担いただく費用について

この商品にかかる費用の合計額は、下記「保険関係費用」および「資産運用関係費用」の合計額となります。また、契約日から1年未満の解約もしくは一部引出には別途「解約控除」がかかります。

■運用期間中の費用

項目	費用の概要と適用方法	費用	
		投資信託による運用	公社債等による運用
保険関係費用 (保険契約管理費)	この保険の維持管理等に必要な費用で、死亡保険金額および年金原資を最低保証するための費用などを含みます。特別勘定の純資産総額に対して、[右記の年率/365(日)]を乗じた金額を毎日控除します。	特別勘定の純資産総額に対して 年率2.08%^{*2}	特別勘定の純資産総額に対して 年率0.90%
資産運用関係費用 (資産運用管理費) ^{*1}	保険関係費用以外で、特別勘定の運用にかかる費用です。特別勘定の投資対象となる投資信託の純資産総額に対して、[右記の年率/365(日)]を乗じた金額を毎日控除します。	特別勘定の投資対象となる投資信託の純資産総額に対して 年率0.90%程度^{*3}	資産運用関係費用はかかりません。

*1 資産運用関係費用は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。信託報酬の他、監査報酬、信託事務の諸費用、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金等がかかりますが、費用の発生前に金額や計算方法を確定することが困難なため表示することができません。また、これらの費用は投資信託の純資産総額より差し引かれます。したがって、お客さまはこれらの費用を間接的に負担することになります。なお、資産運用関係費用は、運用手法の変更等により将来変更される可能性があります。

*2 債券ファンドのみで運用を開始した場合は、年率0.90%となります。

*3 債券ファンドのみで運用を開始した場合は、信託報酬はかかりません。

■解約もしくは一部引出した場合の費用

項目	費用の概要と適用方法	費用
解約控除	契約日から1年未満 ^{*4} で解約もしくは一部引出した場合、解約控除対象額 ^{*5} から控除されます。	解約控除対象額に対して 0.20%

*4 1年未満とは、契約日から1年後の年単位の契約応当日の前日までの期間をさします。

*5 解約控除対象額とは、解約の場合は解約日の積立金額、一部引出の場合は一部引出額をさします。

■年金受取期間中の費用(主契約および年金支払特約) ※将来、以下の内容が変更になることがあります。

項目	費用の概要と適用方法	費用
保険関係費用 (年金管理費)	この保険の維持管理等に必要な費用です。年金支払開始日以降、支払年金額に対して右記の率を乗じた金額を、年1回の年金受取日に責任準備金から控除します。	支払年金額に対して 1.0%

投資リスクについて

この商品は、将来受け取る年金額、解約払戻金額、死亡保険金額等が特別勘定の運用実績に基づいて増減するしくみの生命保険(変額個人年金保険)です。特別勘定は主に国内外の株式・債券等の値動きに連動する投資信託に投資されますので、この商品には価格変動リスク・為替変動リスク・信用リスク・金利変動リスク等の投資リスクがあります。そのため、株価や債券価格の下落・為替の変動等により、解約払戻金等のお受け取りになる金額の合計額が、一時払保険料の額を下回り、損失が生じる可能性があります。

ご注意いただきたい事項

■「投資型年金保険 異次元元(変額個人年金保険GF(Ⅲ型))」は東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社を引受保険会社とする生命保険です。このため、預金とは異なり、元本保証はありません。また、預金保険制度の対象ではありません。

■「投資型年金保険 異次元元(変額個人年金保険GF(Ⅲ型))」は運用期間満了時点で積立金額が基本保険金額を下回った場合でも、年金原資には最低保証があります。ただし、年金原資が最低保証されるためには、運用期間(契約日から10年間)満了まで運用いただくことが必要です。

商品の内容に関しては「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」等をご覧ください。

【募集代理店】	【引受保険会社】 東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社 〒167-0043 東京都杉並区上荻一丁目2番1号 インテグラルタワー TEL 03-6383-6811(大代表) ホームページ http://www.tmn-financial.co.jp ご契約内容・各種手続きに関するお問い合わせは 0120-155-730 受付時間: 月～金/9:00～17:00 (祝日および12月31日～1月3日は休業とさせていただきます。)
---------	---